

【ひろしま避難者の会「アスチカ」とは？】

避難者による避難者のための会です。

東日本大震災の地震や津波、東京電力福島第一原発事故の避難者がここ広島で生活の基盤や気持ちを整えたり、同じ思いの仲間を見つけたりしながら、避難生活を落ち着かせ、次のステップへ踏み出すことをサポートする当事者団体として設立しました。現在、アスチカには118世帯338名の避難者が登録しています。

※「アスチカ」＝「明日へすすむ力」

表1 広島県把握の避難者数

	人数	%
岩手	24	5.5
宮城	94	21.5
福島	233	53.3
その他・不明	86	19.7
計	437	

※表1の人数は全国避難者情報システム(総務省)への本人からの登録により把握されている人数です。すべての避難・移住者が登録しているものではありません。広島県にも未登録の避難者が数多くいます。

表2 アスチカ会員世帯 避難元別

	世帯数(人数)	%
岩手県	3 (3)	2.5%
宮城県	12 (36)	10.2%
福島県	56 (161)	47.5%
関東地方	47 (138)	39.8%
計	118 (338)	

世帯数は昨年とあまり変わらないが、このうち14世帯がこの1年間の新規入会世帯。アスチカ設立当初、福島県からの避難者の割合は6割。現在は5割を切り、関東からの避難者の割合が増加しています。

表3 アスチカ会員 世帯状況

	世帯数	%
単身	19	16.1%
大人のみ	16	13.6%
大人+子ども世帯	83	70.3%
(うち母子世帯)	31	26.3%

7割が未成年のお子さん連れ世帯だが、大人だけの世帯の割合が若干増加。小さな子ども連れ世帯が避難者の象徴的な形ととらえられているが、避難者は0歳から80代まで幅広い。それぞれの世帯構成ごとにそれぞれの困難を抱えています。

アスチカ会員アンケート結果 回収数 60/118世帯(回収率 50.8%)

Q1 全国避難者登録システムに登録されていますか？

	世帯数	%
登録している	41	68.3
登録していない	18	30.0
不明	1	1.7

登録していない理由

	世帯数	%
システムを知らない	5	27.8
登録するメリットを感じない	1	5.6
登録する対象でないと思っている	6	33.3
その他	4	22.2
無回答	2	11.1

- (その他・補足説明) ・しているつもりだったけど、何も届いてないから、していないのかも
しれません。
・しなければと思いつつ、ズルズルと…。 …etc

Q2 住民票は異動しましたか？

	世帯数	%
異動した	50	83.3
異動していない	7	11.7
無回答	3	5.0

異動した理由(複数回答あり)

	世帯数	%
移住だから	36	72.0
避難先へ納税	2	4.0
仕事の都合	2	4.0
子どもの保育園や学校の都合	11	22.0
その他	4	8.0

- (その他・補足説明) ・出産や育児の手続きのため。
・生活する上で不都合なので。

異動しない理由(複数回答あり)

	世帯数	%
不都合がない	2	28.6
家族のつながり	2	28.6
避難元の子どもの医療費支援が充実	1	14.3
福島県県民健康調査などの健康管理の維持	2	28.6
その他	1	14.3

アンケート回答者の中では住民票を移した世帯の割合が増えました。広島に根を張ることを決めた人、根を張りた
と思っている人が増えていると思われます。

Q3 避難の理由は何ですか？

(複数回答あり)

	世帯数	%
津波地震による家屋の消失・損壊	7	11.7
原発事故による強制避難	5	8.3
原発事故による健康影響(含、不安)	52	86.7
仕事がなくなった	0	0.0
精神的ストレス	19	31.7
余震への不安	14	23.3
原発事故悪化への不安	38	63.3
その他	5	8.3

(その他・自由記入)

- ・政府、行政への不信感。
 - ・次の大きな地震が起こった時への不安。
 - ・自分たちが目指していた仕事は理念上不可能になったと判断した。豊かな自然と共に生きる生き方も出来なくなった。
- …etc

広島には原発事故の影響で避難した人が多く、広島という場所柄、原発事故への関心を高く持っていていただきます。しかし、津波・地震の影響で避難した人も一定数います。

Q4 広島へ避難された理由は何ですか？

(複数回答あり)

	世帯数	%
地震等自然災害が少ない	9	15.0
被災地から遠い	23	38.3
自然に恵まれている	8	13.3
被爆地であることへの期待	10	16.7
生活が便利	4	6.7
家族・親族がいる	28	46.7
友人・知人がいる	8	13.3
知っている避難者がいる	2	3.3
たまたま仕事が見つかった	8	13.3
以前住んだことがある	6	10.0
西の食材が手に入りやすい	16	26.7
一時避難・保養に来た縁	3	5.0
避難者への支援がある	4	6.7
その他	7	11.7

(その他・自由記入)

- ・転勤のため
 - ・たまたま気に入った土地が見つかった。
 - ・避難者同士のつながりがある。
 - ・住宅支援が受けられたから。
- …etc

避難の時期が早い会員は「家族・親族がいる」の選択が多く、後になって避難してきた会員はそういった縁が全くない中で広島を選んできた傾向があります。最近、入会される方は仕事を確保したうえで、引っ越してくる方も少なくありません。

Q5 現在お住まいの住宅は？

	人数	%
県営住宅	3	5.0
市・町営住宅	5	8.3
雇用促進住宅	2	3.3
民間借り上げ住宅	10	16.7
実家、親戚宅	5	8.3
民間賃貸住宅	23	38.3
持ち家	8	13.3
その他	4	6.7

(その他)

- ・知り合いの方からの借家。
- ・民間無料住宅

災害救助法の適用地からの避難者とそうでない地域からの避難者への住宅支援の差が大きいのが現状です。適用地からの避難でも、2013年1月以降に来た方は住宅支援の新規受け入れ終了後なので家賃負担しています。昨年よりも、家を購入した世帯が増えています。

Q6 お住まいでのお悩みはありますか？

- ・今後がはっきりしていないので家具を買う、部屋を整えるということに踏み出せない。
- ・住宅支援を受けなければ生活が苦しくなる。
- ・借家なのでそろそろ将来どうするか決めないと、と思っている。
- ・子どもが避難時より大きくなり、今の家は狭くなっていますが、引っ越しはお金がかかるので難しい。
- ・物件の建替え等、家主都合で退去しなければならないとき、経済的に保証人が立てられない等、次の物件を借りることが出来るか不安。
- ・高齢なのでこの先民間アパートは難しいと聞いている。どうしたらいいかわからない。
- ・1階のため、安全性に不安を感じる。
- ・場所柄土砂災害に不安がある。
- ・一度の引っ越しで支援が切れるのはしんどい。
- ・相当リフォームが必要な状態だがリフォームするお金はない。
- ・もっと安いところへ引っ越したい。

…etc

Q7 応急仮設住宅は1年ごとに延長を検討、実施決定されていることについて。(20世帯)

(複数回答あり)

	人数	%
1年ごとの延長でよい	3	15.0
複数年で延長を決めてほしい	11	55.0
(妥当だと思ふ年単位)		
2年	1	
3年	4	
2~3年	1	
5年	1	
(広島県において)支援延長の有無決定通知時期に問題ない	1	5.0
(広島県において)支援延長の有無決定をもっと早期に	12	60.0
その他	0	0

(理由・自由記入)

<更新期間について>

1年ごとでよい → ・複数年でもよいが、カウントダウンされているようでイヤ。

・何があるかわからない。

複数年で → ・毎年更新の手続きが大変。

・住居が安定してないと生活が不安だから。

・単年毎だと生活設計が立てにくい面がある。子どもの進学等も含め。 …etc

<決定通知時期について>

もっと早く → ・日数的に余裕がないと次の住宅を見つけにくい。

◎支援が切れる場合購入を検討する → 1年前には決定通知が欲しい

◎支援が切れる場合賃貸物件を探す → なるべく早く、半年前には通知が欲しい。

・延長されるかどうかいつまでも分からないのは不安。もし切れる場合は相応の準備(心の準備含め)が必要。子どもの教育環境にもかかわる。 …etc

08 現存の公的支援に望む改善点

- ・避難元と避難先の移動費について、平等に使えるようにしてほしい。高速道路だけでなく。
- ・東京からの移住のため、公的支援ということを考えていなかった。
- ・1度の引っ越しぐらいは支援継続の対象にしてほしい。強く希望します。
- ・支援があったとしても自分からは言いにくい。また、今現在どんな支援があるのか正直分からない。
- ・避難時に実家に避難したため、現在家賃補助がない。住宅支援が欲しい。
- ・家賃、医療費補助範囲の拡大。 …etc

09 公的なもの、民間のものにかかわらず、これから必要とする支援があればお書きください。

- ・避難元←→避難先の交通費の支援。
- ・失業したり、転居の必要に迫られた時、身の保証がないので、支援してもらえたら有りがたい。
- ・医療費について。3月11日に福島にいた子どもについては18才まで無料としてもらいたい。
- ・避難者(の住む場所)をある程度、まとめてくだされば、皆さんの顔も見れて心強くもあり、いいのではないかと思う。
- ・母子避難なので、父親の就業支援があるといいかなと思う。
- ・(住宅支援が切れる場合)28年4月以降も有料でも良いから市営住宅に入居できればと思う。
- ・家賃補助、医療費支援。
- ・広島のように被ばく手帳的な、せめて子どもたちだけでも、一生医療に継続検査があり、無償としてもらいたい。
- ・身内がいないので、何かあった時の為に子どもを見てくれるボランティアさんがいてくれるとありがたい。
- ・シェアハウス。格安住宅の提供。副業になる仕事の紹介など。 …etc

※その他、「今後の保養・移住希望者のための支援」等、現在、避難・移住した人以外を対象にしたものの希望もある。

Q10 生活費を支えているものは何ですか？

(家族で避難されている世帯)

(複数回答あり)

	回答数
世帯主の収入	31
配偶者の収入	13
預貯金	13
年金	3
賠償金	1
その他	1

(単身・母子等家族の一部で避難されている世帯)

(複数回答あり)

	回答数
ご本人の収入	11
家族からの仕送り	8
預貯金	4
年金	3
賠償金	1
その他	1

(その他) ・自営での収入

Q11 生活費・収入は十分ですか？

	世帯数	%
十分	6	10.0
まあ満足	18	30.0
苦しい	33	55.0
無回答	3	5.0

昨年と比べて「十分」は微増、「まあ満足」は大幅に減り、「苦しい」が半数を超えるほど増えました。昨年、楽ではないが想定内であるので「まあ満足」と答えていた世帯も「苦しい」という心証に変わってきていると思われます。子どもの成長に伴い、子どもにかかる費用が多くなってきているという面もあります。

Q12 生活費・収入に関して、ご自由に

- ・少しの年金と預金で暮らしていますので苦しいです。
- ・なんとかパートの仕事に就いたものの、切り詰めてどうにか生活していくしかない。気持ちが沈まないよう努力している。
- ・なんとか生活ができるようになったが、預金が全くできずに賃貸なので、先が不安。
- ・子どもが成長するにつれ支出は多くなり、収入は少ないので今までよりは厳しい状況。
- ・今は住宅支援もあるので助かっている。(打ち切られたら厳しい。)
- ・関東に比べ、家賃が安い。
- ・現状に見合った生活資金の援助がほし。定職に就き、安定した収入が得たい。
- ・新しい土地で、新しい職に就く、新規就業の負担は計り知れない。家賃も出ない状況での新規事業は本当に大変で、次につながらないので、そのあたりの支援があればハードルが低くなると思う。
- ・二重家計が苦しい。
- ・自営なので雇用者に対しての支払い、また、規模拡大を図っているので常にお金が必要様です。
- ・仕事を辞めてきたので収入激減。
- ・持家購入で生活が大変である。(老後持ち金出し切り)
- ・病気になるず、贅沢をしなければ生きていける。
- ・避難元より物価が高い気がする。

…etc

Q13 お仕事面でのお悩みなどはありますか？

- ・母子なので自分が体調を崩した時に休める・頼める関係づくり。
- ・月1回避難元へ仕事に行くが、こちら(広島)で本腰を入れるのか否かまだ中途半端。
- ・今より収入の上がる仕事を探しているが、なかなか見つからない。
- ・正規労働者と同程度に働いても、それ以上に役割を果たしても、彼らの肩代わりをしても、彼らの教育をしても、時給で比較したら3分の1程度の報酬であることが悲しくなる。
- ・自営を始めたが、軌道に乗る前に主人が病気になった。
- ・定職に就きたい。
- ・できれば、もう少し自分のスキルにつながる仕事がしたい。
- ・子どもがしょっちゅう病気になり働けない。
- ・子どもの預け場所がない。
- ・年齢のことがあり、再就職は難しい。
- ・食べられる仕事を見つけられない。正社員、または月給制の仕事を探しているが見つからないので、今は時給で働いている。連休がある月は極端に収入がなくなるので全く食べれない。 …etc

Q14 現在、仕事をされていない方に伺います。

- ①(将来的な展望も含め)仕事に就きたいと思いませんか？ ②(①「はい」の方)希望の雇用形態は何ですか？

	回答数
はい	14
いいえ	3

(複数回答あり)

	回答数	%
正社員	4	28.6
パート	7	50.0
アルバイト	1	7.1
契約社員	0	0
その他	4	28.6

- ③(①「はい」の方)就職活動していますか？

	回答数	%
はい	1	7.1
いいえ	10	71.4
無回答	3	21.5

(その他)・希望の職種であれば形態は問わない。

・自営

- ⑤(①回答者全員)理想の条件

(複数回答あり)

- ④(③「いいえ」の方)就職活動しない理由

(複数回答あり)

	回答数	%
将来の希望なので	1	10.0
体調に不安がある	5	50.0
子どもの預け先がない	1	10.0
その他	4	40.0

(その他)

- ・保育料が高く、働いてもお金が手元に残らない。
- ・子持ちと言ったら嫌な顔をされた。
- ・子どもが小さい。

(その他)・自宅からの通勤に支障がない。

	回答数	%
転職がない	2	11.8
社内保育園	1	5.9
土日が休み	6	35.3
夜勤がない	7	41.2
避難元に戻っても、通える範囲で仕事が続けられる	0	0.0
子どもの体調不良・学校行事で休暇が取りやすい	8	47.1
在宅で仕事ができる	1	5.9
賃金の満足	3	17.6
その他	2	11.8

Q15 昨年8月に広島で土砂災害がありました。土砂災害の際の気持ちに近いものを選んでください。

	世帯数	%
3.11の震災の時の怖さを思い出した	22	36.7
3.11の時の怖さがよみがえり、精神的に不安定になった	10	16.7
何かしたいと思った	27	45.0
行ったこと	募金・ボランティア活動(炊出し、土砂掻き出し、ボラセンスタッフ、マッサージ)・物資支援、被災地域の友人のケアなど	
落ち込んだ	12	20.0
被災するのではないかと不安になった	15	25.0
特に変化はなかった	4	6.7
その他	11	18.3

(その他・自由記入)

- ・何かしたいとの気持ちはあったが、動けなかった。
 - ・現場が近いので、付近を通る度、しばらくの間は涙が出てきてしょうがなかった。中学校の同級生が被害に遭ったのもあり…。
 - ・子どももいて、思うように動けず落ち込んだ。
 - ・広島の人にもっと防災意識を高めてほしいと思った。
 - ・災害はどこにでもあると思った。当事者になって初めて気付くことだと思うが、機会がある度にそのことは話そうと思う。
 - ・気持ちがざわついて不穏だった。もっと何かしたいという気持ちと、1歳の娘を抱えて焦るより長期にわたる問題だから長い目で見てできる事をしていこうという考えのせめぎ合い。
 - ・避難移住者に安佐南区の山側は物件が安いし、学区がよいらしいと勧めていた自分が軽率だったと反省した。責任を感じて恐ろしくなった。
 - ・申し訳なく痛ましいと思いつつも積極的に報道を見る気持ちにはなれなかった。キャスターの声の調子が当時を思い出させたので。
 - ・地球規模の変化の表れと感じた。西日本に避難すればよいという問題ではなく、人間の生き方そのものに修正が必要と地球が警告していると思う。
- …etc

Q16 今後のご予定は決まっていますか？

	世帯数	%
今住んでいる自治体へ定住	23	38.3
避難元ではないところへ移動	2	3.3
近いうちに避難元へ戻る	1	1.7
いずれ避難元へ戻る	1	1.7
決めていない	23	38.3
上記に当てはまらない	10	16.7

「定住」と「決めていない」が同数。「決めていない」のうち7世帯は「どちらかと言えば定住したい」、1世帯「どちらかと言えば帰りたい」、1世帯「半々」という意向(14世帯は無回答)。「当てはまらない」を選んだ方の中にも「決めていない」に近い迷いを持っている人もいます。子どもの進路が判断の中心になってきた家庭が少し増えてきた。

- ・住みよくて、友人も出来たから。
- ・子どもが中学に進学したため、高校卒業までは転校させたくないため。
- ・戻るには不安があり、子どもたちも落ち着いているので。
- ・ここでやっていると決めたから。
- ・実家があり、小学校も決まった。友人が支えてくれる。
- ・この場所で安心して子育てをしたい。
- ・住み慣れてしまったため。4月から子供が小学生になるため。
- ・生活基盤がこちらでできたため。 …etc

【移動】

- ・娘の就学に合わせて、環境を選びたい。(避難時は選べなかった。)
- ・主人の転勤

【近く戻る】

- ・当初の夫との約束。夫と夫の両親の顔色をうかがって。

【いずれ戻る】

- ・夫が避難元で自営のため。三子が中学へ入学するころを目安にしている。

【決めていない】

- ・避難元出身の夫が地元に戻る気持ちをまだ持っている。但し、本人も汚染の心配もしていて決めきれず先延ばしに。私自身はに戻りたくない。
- ・子どもの成長により、変化があるから。
- ・決めるための資料もないし、判断力も乏しい。
- ・転勤を伴う仕事のため。
- ・半々の気持ち。福島の子どもたちの健康被害がわかっていない。
- ・年取った時に、子どもが育った後に東北へ戻る夢を失ってはいないので。
- ・今後の見通しが全く立っていない。
- ・いずれもう少し東北に近いところとは思っているが…。 …etc

【当てはまらない】

- ・海外移住検討中。
- ・わからない。地元に戻りたい。母親や親戚がいるし、家もある。でも放射能が不安で戻れない。
- ・広島近辺でまた原発事故などあれば別の場所に行く。
- ・伊方、島根原発の再稼働による。
- ・仕事がある所へ移住する。(できれば関西以西) …etc

Q17 現在、特に大変なこと、つらいことは何ですか？(最大5つまで)

(最大5つまで)

	世帯数	%
仕事が見つからない	2	3.3
生活費が足りない	14	23.3
体調不良	11	18.3
育児	8	13.3
子どもの教育・進路	11	18.3
家族バラバラに暮らしていること	10	16.7
避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと	30	50.0
心の余裕のなさ・精神的な不安定さ	20	33.3
家族間の意見の不一致	6	10.0
避難元の復興が遅れていること	6	10.0
避難元に帰れないこと	7	11.7
今住む地域に親しい友人がいないこと	7	11.7
避難元の友人と疎遠になってしまったこと	14	23.3
震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じる	21	35.0
避難先の人たちと意識の差を感じる	15	25.0
特にない	3	5.0
その他	14	23.3

(その他・自由記入)

- ・原発事故は全く終わっていないと思うが、世間ではほとんど関心が内容に思え、精神的にしんどい。
- ・避難元へ残る夫と家族（両親）の健康が心配です。特に父親の介護問題が深刻です。なかなか帰れる距離ではないので不安です。
- ・あまりいろいろな物事に期待しないように心掛けています。期待外れでへこむのは嫌なので。
- ・私たちの経験が世の中よくなる方向へ活かされていない。逆行してるように感じる。子どもの為に避難した。子どもの為により良い未来を残したい。原発も核も戦争もない世の中を残したい。
- ・夫は仕方ないというが、夫が子供の成長をそばで見守れないことが悲しい。避難を決めた時点でわかっていることとはいえ、孫の成長をつぶさに見せられなくなった避難元にいる実家の両親にも申し訳ない気持ちがある。
- ・母子避難していた友人が戻るようになってしまったこと。
- ・避難元では都市部に住んでいて生活が便利だったが、避難先は田舎なので何かと不便を感じる。
- ・社会全体も原発についてもますます不安な方向に進んでいるように見えること。声を上げて何の効果もないのか…と思えるような現実。
- ・放射能汚染の食品などを避けて選択することが疲れる。それを伝えても伝わらないもどかしさ。
- ・避難が広島市民に理解されないこと。
- ・避難者と意識の差を感じる事。同じ境遇の人がいないので。
- ・避難元の親族からの、避難したこと移住したことが責められること
- ・原発事故が全く収束されず、汚染が拡大していること。

…etc

選択が1つ2つで済む人、5個ギリギリまで選ぶ人の差があったように思います。昨年も多かった「避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと」を選ぶ人が昨年よりもさらに多くなりました。「震災や原発事故のことが忘れられているように感じる」も昨年より増えました。

Q18 今後に関し、どんなことに不安がありますか？(最大5つまで。)

(最大5つまで・5つ以上の回答も含む)

	世帯数	%
避難先の生活が安定するか	18	30.0
健康	37	61.7
避難し続けられるか	8	13.3
住宅支援がいつまで続くか	14	23.3
子どもをしっかり育てられるか	12	20.0
子どもの進路	11	18.3
家族と一緒に暮らせるか	8	13.3
夫婦の関係が悪化しないか	6	10.0
避難元へ帰れるか	1	1.7
避難元へ帰らなければいけないこと	3	5.0
避難元へ帰ったら孤立しないか	1	1.7
避難元にいる親の介護	19	31.7
特になし	6	10.0
その他	3	5.0

昨年よりも新しい選択肢(「子どもの進路」「夫婦間の関係が悪化しないか」「避難元にいる親の介護」)を加えました。それぞれ一定数の選択がされています。特に「避難元の親の介護」を選んだ世帯は2番目の多さ。目の前の生活ばかりでないとこも現実的に目を向けて考えられるようになってきているのかもしれませんが。「避難先の生活が安定するか」が3割まで減少しています。

(その他・自由記入)

- ・仕事が見つかるか。
- ・原発再稼働や憲法改正、特定秘密保護法など政治的なものの今の状態が戦前に似ていると言われること。
- ・避難元に帰ってからの生活が心配です。砂埃、給食、学校行事を考えると苦しい。
- ・何の支援もない状態で一からの出発。本当に厳しいがやるしかない。やってやろう！と思っている。気合のみ！
- ・安定した生活を子らとしたいし、自営の仕事場に近いところへ引っ越そうかと思う。その際の住宅支援の打ち切り、生活していけるか不安。仕事場に近い学校に通わせたい。変質者が多くて子どものそばにいたい。
- ・食生活の不安。今後、どれだけ汚染のない食材を確保していけるか。
- ・子どもたちの健康状態(自分の子どもだけでなく) …etc

Q19 震災から間もなく4年の時期になって、変化してきたことは何ですか？良いことでも、悪いことでも気づきがあれば教えてください。

(複数選択あり)

	人数	%
気持ちが穏やかになってきた	14	23.3
あきらめのような気持ちが強くなった	23	38.3
生活が安定してきた	14	23.3
楽しいことをしようという気持ちになってきた	20	33.3
前向きな気持ちになってきた	14	23.3
将来への不安が強くなった	10	16.7
広島に定住する気持ちが固まった	11	18.3
避難元へ帰りたい気持ちが強くなった	3	5.0
怒りが強くなった	4	6.7
変化はない	3	5.0
その他	10	16.7

「あきらめのような気持ちが強くなった」と「楽しいことをしようという気持ちになってきた」の二つを同時に選んでいる方も多くいました。

(その他・自由記入)

- ・広島に約4年。環境にもだいぶ慣れ、生活も安定していますが、やはり避難元にいるおじいちゃん・おばあちやんと一緒になって育児をしたり、そばにいたらいろんなこと出来ただろうな…と思うと帰りたい気持ちが湧くことがある。
 - ・家族それぞれに広島での人との繋がりができてきた。
 - ・避難先での生活が日常になってきて、福島へのアクションにむける時間・エネルギーの割合が自分の中で変わってきていることへの罪悪感。
 - ・ふるさとを思う気持ちは事故当時から何も変わらない。でも、前を向くしかない。今を楽しんで。
 - ・親の私は避難元へ帰りたいと思っけていても、この4年で子どもは大きくなり、親の気持ちよりも子供の成長に行動を合わせている状況。
 - ・不安な気持ちにつぶされそうになる時もあるけれど、割り切れることもできるようになってきたし、今までの自分が生きてきた道がどんなものであったか、これからどう生きていきたいのか等、いろいろ考えられるようになった気がする。
 - ・早く安心して住める場所を見つけて定住したい。時間がないのです。
 - ・精神的に疲れた。個人的には精神的にもっと楽になりたい、楽しいことをしたいという気持ちもあるが、社会的な将来にはとても不安を感じ、楽観的になれない。
 - ・国、電力会社、銀行への怒り、不信感はさらに強くなりました。
 - ・学校や地域に変化をもたらすのは難しいとあきらめの気持ちが出てきました。同じ考えの人や家族だけ守ろうという気持ちになりました。
 - ・東電の発表で未だに放射性物質が出ていることを知り、将来への不安はさらに強くなりました。一生被ばくの防御は続くと思うので、同時に楽しめる事や新しいことにもチャレンジしていこうと思いました。
 - ・放射能への危険意識が自分自身薄れてきていることが怖い。10年20年続けて行けるのか不安になる。
 - ・生活に慣れてきた。
 - ・自営業をやり始めて目標ができて、今、規模も広げようとワクワクしている。こんな気持ちになれるなんて思わなかった。その反面、避難元の方を向くととてもつらくなる。何も進んでいなくてがっかりする。
 - ・同じことが繰り返されないように自分にできる事があればやっていきたいと思う気持ちと体調が悪いので落ち込むときもあります。
- …etc

Q20 今、楽しみにしていることはありますか？

	人数	%
はい	37	61.7
いいえ	5	8.3
無回答	18	30.0

⇒(「はい」の方)それは何ですか？

- ・仕事が楽しい。
- ・広島で新しく地域のことを見つけること。(最近、家の近くに銭湯を見つけた)
- ・これから迎える出産。
- ・自治会等のお茶飲み会。
- ・子どもや孫の成長。子どもや孫と過ごす時間。子どもが外で生き生きと遊ぶ姿を見ること。
- ・たまに夫が広島に来て、家族4人で過ごす何日間かが楽しみ。

- ・趣味や習い事（パン作り、スポーツ、DVD鑑賞、音楽活動、山歩き、カラオケ、読書、ヨガ…）
- ・農業、畑仕事。
- ・カープの応援。
- ・毎日の暮らし。日々の生活を豊かな気持ちで送れるようにする工夫。
- ・地域とつながり、事業を興していけたらと考えているのでワクワクしています。
- ・移住者のための空家等の相談。
- ・土日におことゆっくり過ごすこと。
- ・春休みに避難元の友達と会うこと。 …etc

Q21 これまで、アスチカの交流カフェに参加したことはありますか？

	人数	%
参加したことある	48	80.0
参加したことがない	12	20.0

⇒①～③

⇒④

① また参加したいと思いますか？(48人)

	人数	%
はい	37	77.1
いいえ	7	14.6
その他	2	4.2
無回答	1	2.1

(その他)・わからない。

② また参加したい理由(37人)

(複数回答あり)

	人数	%
情報交換	26	70.3
他の避難者のとの交流	24	64.9
託児がある	5	10.8
外出の機会	3	8.1
リフレッシュ	6	16.2
その他	2	5.4

(その他)・またいつか…と思いながら人前が出るのが怖く、いつも失礼してます。

③ もう参加したくない理由(7人)

もう参加したくない理由(複数回答有)

	人数	%
楽しくなかった	1	14.3
今は必要を感じない	2	28.6
求めているものと違った	1	14.3
その他	3	42.9

(その他)

- ・会場が遠い。
- ・もっと楽しいことをやっていてちょっと忙しい。

④ 今まで参加したことがない理由(12人)

	人数	%
避難元・状況が違う人との交流は不安	5	41.7
日程が合わない	5	41.7
余裕がない	1	8.3
会場が遠い	5	41.7
交通手段がない	0	0.0
特に行く必要がない	0	0.0
家族で過ごす時間を優先	4	33.3
震災のことを思い出したくない	3	25.0
自分のことを話したくない	2	16.7
その他	2	16.7

(その他)

- ・人見知りなので、なかなか出て行けない。
- ・仕事が休めず、車を持っていない。

Q22 今後どのような情報の充実を望みますか？

(複数回答あり)

	世帯数	%
定住のための情報	17	28.3
住宅	17	
雇用	7	
教育	9	
その他	1	
避難元の情報	9	15.0
復興状況	7	
住居	1	
雇用	0	
教育	0	
その他	1	
原発事故にかかわる訴訟の情報	17	28.3
住んでいる地域の情報	15	25.0
その他	3	5.0

(その他・自由記入)

- ・理解ある保育園、幼稚園、小学校の情報
- ・病院、医療情報
- ・被災地の人々の生の声
- ・避難者に理解のある不動産屋や企業